

# きらり

私たちは「きらり」と輝くんや

平成22年3月19日(金)山根

## 「ごめんね」

2人の幼稚園児が砂場で仲良く遊んでいた。突然、砂を入れる小さなバケツの取りっこが始まった。「これ、〇〇の～、あかん」といって振り回した。

相手の子が、勢いあまってこけた。上手に手をついたが痛くて泣いてしまった。するとバケツを振り回した子が、すぐ「ごめんね。ごめんね。ねねね」と言っていた。そのあと2人はすっかり仲良くなっていました。

このように、子どものうちは比較的すぐに「ごめんね」と言えます。しかし、大人になってくるとなかなか言えなくなってきたりします。素直さが減ってきているのでしょうか。

素直さが無くなってくると、人は「ごめんね」が言えなかつたりします。

自分が原因を作っているにも拘(かか)わらず、他人のせいにしてたり、日本の政治が悪いと言ってみたり、誰かのせいにしてたりします。

そして「ごめんね」が言えないのです。

「ごめんね」を言うことで、自分の弱みを見せるのではないか、そこから攻撃されるのではないか、と考えたりするのもかもしれません。

弱い人は「ごめんね」が言えない人です。間違っ



(株式会社 太郎倶楽部 ホームページより引用)

たときは、自分の誤りを認めて、素直に「ごめんね」を言える人が、自分の人生に責任が取れる人です。本当に勇気のある人です。

中学生は、大人になるための準備をしているのです。そこで、間違っ

たことをしたときは、きちんと「ごめんね」と言うことで、中学生として、自分なりの責任を取ることを学習しているのです。  
「ごめんね」が言えず、素通りしてしまうと、いいことと悪いこととが区別できないようになってしまいます。素直に「ごめんね」が言えるかっこよい大人になって下さい。

「頑張れ！坂中生」

喧嘩した  
「ごめん」とすぐ言えば良かった  
悪かった  
でも今は言えていない  
先生が来た  
「なんで、したんな」が始まった  
なぜか言えない  
めんどくせえな  
でも、大変なことになってきている  
「ごめん」と言っておれば  
終わっていられた  
胸が押しつけた  
格好悪いなあ  
では、おわらんかな  
でも、おわらんかな  
やっばり  
言った  
「ごめん」  
なんか軽くなった

かっこ悪かった

